



東京ミッドタウン・デザインハブ
〒107-6205 東京都港区赤坂 9-7-1
ミッドタウン・タワー5F

Tokyo Midtown Design Hub
5th floor, Midtown Tower,
9-7-1 Akasaka, Minato-ku,
Tokyo Japan 107-6205

TEL 03-6743-3776
Fax 03-6743-3775
http://www.DesignHub.jp
info@designhub.jp

2014年3月13日

東京ミッドタウン・デザインハブ

東京ミッドタウン・デザインハブ第45回企画展 デザインバトズ ～未来のデザインをおもしろくする人たち～ いま注目のクリエイターがつなぐ「未来へのデザインのバトン」

国際的なデザイン情報の発信拠点である東京ミッドタウン・デザインハブ（東京都港区／構成機関：公益財団法人日本デザイン振興会、公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会、武蔵野美術大学 デザイン・ラウンジ）は、第45回企画展『デザインバトズ～未来のデザインをおもしろくする人たち～』を4月4日（金）から開催します。この企画展は、「デザイン」を通じて、「未来」を感じてもらう展覧会です。ここに、クリエイションの各領域で注目を集める10人のクリエイターがいます。彼らに「未来のデザインをおもしろくする人たち」のキュレーターとなってもらい、「未来を感じるデザインをしていること」「自分よりも年下であること」というふたつの条件から、それぞれひとりずつ、自分が未来のバトンを渡すクリエイターを探し出してもらいます。10人の未来を見極めるクリエイターと、10人の未来を託されたクリエイター。会期中、選ぶ側と選ばれた側それぞれのクリエイターがお互いに「デザイン」と「未来」をテーマにした作品展示とトークセッションを行ってもらいます。クリエイターからクリエイターへ、「未来」へ向けたバトンが受け渡される様を通し、来るべき次の時代のデザインや社会を考えていくきっかけになればと考えます。

東京ミッドタウン・デザインハブ第45回企画展

デザインバトズ ～未来のデザインをおもしろくする人たち～

会期 2014年4月4日（金）～5月11日（日）

11:00～19:00 会期中無休

オープニングパーティー 4月4日（金）19:00～21:00（予定）

会場 東京ミッドタウン・デザインハブ

（港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5階）

入場料 無料

主催・企画・運営 東京ミッドタウン・デザインハブ

総合ディレクション 青木克憲、伊藤総研

アートディレクション 原野賢太郎

● トークセッション

会期中にキュレーターとゲストによるトークセッションを開催します。登場するクリエイターと開催日時は、東京ミッドタウン・デザインハブのウェブサイトですぐお知らせします。

東京ミッドタウン・デザインハブ <http://www.designhub.jp/>

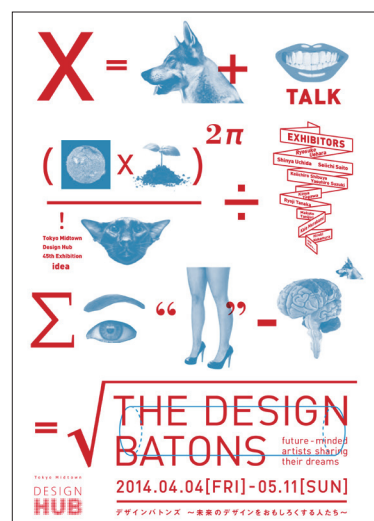
※ ビジュアルの用意がございます。下記、報道関係のお問い合わせ先までご連絡ください。

一般からのお問い合わせ先：東京ミッドタウン・デザインハブ

電話 03-6743-3776 FAX 03-6743-3775 E-mail info@designhub.jp

報道関係のお問い合わせ先：共同PR株式会社

電話 03-3571-5238 FAX 03-3571-5380 担当：宇津木、横山、渡辺



● ディレクタープロフィール

青木克憲

アートディレクター・クリエイティブディレクター

1965年東京日本橋生まれ。サン・アドを経て、1999年バタフライ・ストローク・株式会社 設立。東京タイポディレクターズクラブ理事、東京アートディレクターズクラブ、日本グラフィックデザイナー協会会員

伊藤総研

編集者

1974年福岡県生まれ。横浜国立大学卒。在学時よりフリーランスとして活動。雑誌や書籍、映像、ラジオ、ウェブ、広告キャンペーンなど、さまざまな媒体の企画立案から制作まで携わる。

● アートディレクタープロフィール

原野賢太郎

アートディレクター

1983年山口県生まれ。2006年多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業。同年、株式会社博報堂入社。JAGDA 新人賞 2014 受賞。

● キュレータープロフィール (全 10 名)

植原亮輔 (キギ)

アートディレクター

1972年北海道生まれ。DRAFT を経て 2012年に渡邊良重とキギを設立。企業、ブランド等のアートディレクション、D-BROSをはじめとしたプロダクトデザインを手掛ける。主な仕事に、PARCO、SANYO コート、PASS THE BATON、シアタープロダクツ、krukku のコスメライン「reilu」、「森をひらくこと T.O.D.A.」など。TDC 賞、JAGDA 賞、東京 ADC 会員賞、NY ADC 金賞、ONE SHOW DESIGN 金賞、第 11 回亀倉雄策賞など受賞。

内田伸哉 (Yahoo! JAPAN)

クリエイティブマネージャー

株式会社電通 プロデューサー、コピーライターを経て現在ヤフー株式会社クリエイティブマネージャー。コーポレートコミュニケーションから新規広告枠開発まで、対外的に発信する表現のプロデュース、ディレクションを行う。

受賞歴：カンヌ国際広告祭、ONE SHOW、文化庁メディア芸術祭、朝日広告賞他多数

齋藤精一 (ライゾマティクス)

アーティスト・クリエイティブ&テクニカル・ディレクター

1975年神奈川県生まれ。コロンビア大学建築学科 (MSAAD) で学び、2000年から NY で活動を開始。その後 ArnellGrou での活動、2003年の越後妻有トリエンナーレでアーティストに選出されたのをきっかけに帰国。フリーランスのクリエイティブとして活躍後、2006年にライゾマティクスを設立。アート・コマーシャルの領域で立体・インタラクティブの作品を多数手がける。国内外の広告賞での受賞多数。

渋谷慶一郎 (ATAK)

音楽家

1973年生まれ。東京芸術大学作曲科卒業。2002年に音楽レーベル ATAK を設立、国内外の先鋭的な電子音楽作品をリリースする。代表作に「ATAK000+」「ATAK015 for maria」など。2012年初音ミク主演のボーカロイド・オペラ「THE END」を山口情報芸術センター [YCAM] で制作、発表。同作は 2013年 5月東京・渋谷 Bunkamura オーチャードホール、11月パリ・シャトレ座にて公演を行い、大きな話題となる。また同時に「THE END」の CD 版である「ATAK020 THE END」を発表。同作品は 2014年にヨーロッパを巡回予定。

鈴木康広

アーティスト

1979年浜松市生まれ。2001年東京造形大学デザイン学科卒業。2013年より武蔵野美術大学空間演出デザイン学科専任講師。映像インスタレーション作品『遊具の透視法』（2001）がNHK デジタル・スタジアムで年間のグランプリを受賞。『まばたきの葉』（2003）、『空気の人』（2007）、『ファスナーの船』（2010）など、美術館のみならず公共空間へ展開する創作を続けている。2011年、浜松市教育文化奨励賞「浜松ゆかりの芸術家」を受賞。

田川欣哉（takram design engineering）

takram design engineering 代表／デザインエンジニア

デザインエンジニアリングという新しい手法で、ソフトウェアからハードウェアまで幅広い製品のデザインと設計を手がける。主なプロジェクトに、トヨタ自動車「NS4」、NTTドコモ「ドコモメール」、無印良品「MUJI NOTEBOOK」のUI設計・デザインなどがある。1999年東京大学工学部卒業。2001年英国ロイヤル・カレッジ・オブ・アート修士課程修了。

田中良治（セミトランスペアレント・デザイン）

アートディレクター／ウェブデザイナー

1975年三重県生まれ。同志社大学工学部／岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー卒業。セミトランスペアレント・デザイン代表取締役。ウェブ広告を制作をしながら、ICC、YCAM、クリエイションギャラリー G8、ポンピドゥーセンター、21_21 DESIGN SIGHT でインスタレーションを展示。近年はデジタルメディアを扱いながらグラフィックデザインに接続するような作品制作、活動もおこなっている。

谷尻 誠（Suppose design office）

Suppose design office 代表／建築家

1974年広島生まれ。2000年建築設計事務所 Suppose design office 設立。住宅、商業空間、会場構成、ランドスケープ、プロダクト、アートのインスタレーションなど、仕事の範囲は多岐にわたる。広島・東京の2カ所を拠点とし、インテリアから住宅、複合施設など国内外合わせ、現在多数のプロジェクトが進行中。現在、穴吹デザイン専門学校特任講師、広島女学院大学客員教授。主な仕事に「DESIGN TIDE TOKYO」2008、2009 会場構成、「Milan Salone 2010 東芝 Luceste」インスタレーションなど。これまで手がけた住宅は100件を超える。国内外の受賞多数。

中村洋基（PARTY）

クリエイティブディレクター

1979年生まれ。電通に入社後、インタラクティブキャンペーンを手がけるテクニカルディレクターとして活躍後、2011年、4人のメンバーとともに PARTY を設立。最近の代表作に、レディー・ガガの等身大試聴機「GAGADOLL」、トヨタ「TOYOTOWN」トヨタのコンセプトカー「FV2」、ソニーのインタラクティブテレビ番組「MAKE TV」などがある。国内外200以上の広告賞の受賞歴があり、審査員歴も多数。「Web デザインの『プロだから考えること』（共著）上梓。

ムラカミカイエ（SIMONE）

SIMONE INC. 代表 / クリエイティブディレクター

2003年、ファッションとビューティ分野に特化したブランディングエージェンシー「SIMONE INC.」を設立。国内外多数の企業、アーティストのデジタル施策を軸としたブランディング、コンサルティング、広告キャンペーン等を手がける。